

2025年1月31日

日鉄エンジニアリング株式会社

ニュースリリース

【受注】 揖龍地域新エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業

日鉄エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：石倭行人、東京都品川区、以下「当社」）を代表とする企業グループ^{※1}は、このたび揖龍保健衛生施設事務組合（管理者：たつの市長 山本実、以下「組合」）より揖龍地域新エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業の設計・製作・施工を受注しましたのでお知らせいたします。

本施設は当社の低炭素型シャフト炉^{※2}として6件目の受注で、組合の既存施設（1997年稼働開始、当社の従来型シャフト炉）に比べ、CO₂排出量の大幅な削減が可能となります。

当社は既存施設の設計・製作・施工と稼働以降これまで約30年にわたる操業・整備業務を受託し、地域で発生するごみの安全で安定的な処理に携わってまいりました。今回の施設更新では、組合からこれまでの安定稼働実績が評価され、改めて当社の低炭素型シャフト炉が採用されたこととなります。

今後も長期間にわたり信頼性の高い技術で安定的にごみ処理を担うとともに、廃棄物発電や溶融スラグ利活用などのごみ処理に関する総合的なソリューションの提供を通じて、地域循環共生圏の構築やSDGsの達成に向けた取り組みに貢献してまいります。

※1 日鉄エンジニアリング株式会社、東洋建設株式会社の2社で構成する企業グループ。

※2 多様な廃棄物の資源化と最終処分量の極小化という従来型の特長に加え、コークス使用量を極小化することでCO₂排出量の大幅削減と経済性の向上を実現したシャフト炉。

【案件概要】

設計・建設期間	2025年1月～2031年9月（既存管理棟の撤去工事含む）
建設予定地	兵庫県たつの市 揖龍クリーンセンター敷地内 約12,000㎡
処理対象物	普通ごみ、粗大ごみ、リサイクル施設由来の可燃残渣
処理方式	シャフト炉式ガス化溶融炉
施設規模	115 t/日（57.5t/日×2炉）
付帯施設	計量棟、駐車場、電気自動車用充電設備、構内道路、植栽など、 その他関連する施設や設備など
稼働開始	2031年4月（予定）



【お問い合わせ先】

サステナビリティ・広報部 広報室

URL : <https://www.eng.nipponsteel.com/enquete/all/>

以上